

平成12年8月22日

各関係機関長

各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除所長

病害虫防除速報第3号

病害虫名 穂いもち、紋枯病

作物名 普通期水稻

1 発生状況

1) 穂いもち

穂いもちの発生は7月中旬以降に急激な病勢の進展が見られたが、8月の好天候により抑制され概ね平年並である。しかし北諸県郡、西諸県郡を中心に発病程度の高いほ場が散見される。

2) 紋枯病

8月中旬の発生面積率は53.6%（平年55.5%）と平年並であるが、発病株率は14.3%（平年10.1%）とやや高く、上位葉鞘への進展が散見される。穂ばらみ期以降はイネの抵抗力が弱まり、高温下では急激に上位葉鞘へ進展し、収穫期まで発生が続くので注意が必要である。

2 防除対策

1) 穂いもち

穂いもちが発生している場合は、穂ばらみ期～穂揃期の防除を確実に行う。
雨の多い時は雨間散布を行い、防除適期を失しないようにする。

2) 紋枯病

穂ばらみ期～穂揃期が防除適期である。その後更に上位葉に進展する場合は2回目の防除を行う。